

競技注意事項

本大会は2023年度世界陸連競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項により実施する。
WRK対象種目以外は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および国内広告規程および大会申し合わせ事項により実施する。

1. 競技場への入場は東側ゲート、退場は西側ゲートを通りスタンドに帰ること。
2. 招集について
 - (1) 招集所は東側砂場付近とする。
 - (2) 招集時間はトラック競技20分前、フィールド競技は30分前に招集を完了すること。
3. 予選の必要がなくなった場合は決勝時刻に決勝を行う。
4. バーの上げ方

走高跳 (男)	1m80より1m95までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
(女)	1m40より1m65までは 5cm刻み、以降は 3cm刻み
棒高跳 (男)	3m80より10cm刻み
(女)	3m40より10cm刻み
5. 競技用靴はTR5.2に基づきスパイクは11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで少なくとも長さの半分以上は4mm四方の定規に適合しなければならない。また、シューズ底の厚さは現行通りとし、事前の検査は行わないがエリア記録・日本記録以上の新記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。
6. 競技前、競技中に審判員が疑義を抱いた競技用靴については、競技後に審判長の権限で検査を実施することがある。
7. 競技用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、個人所有のハンマー、円盤、砲丸、やりの使用を希望する者は、その種目の競技開始時刻1時間前までに係員に器具の検査を受け、合格したものに限り許可する。
8. 表彰は、決勝終了後、直ちに行うので、3位までの入賞者は速やかに本部前に集合すること。(但し、5000m・10000mの表彰は5月21日(日)に行なう)
9. アスリートビブスは、所定のもを必ず胸背につけること。但し、跳躍種目の場合は胸・背のどちらかに付けるだけでもよい。(アスリートビブス及び腰ビブスは、競技者係が配布するが、フィニッシュ直後係員に返却すること。) また、タイツを使用し出走する場合は性質上通気性が良く、腰ビブスが非常に剥がれやすくなっている為、安全ピンを持参し使用すること。
10. リレーオーダーは、招集完了時刻の60分前までに競技者係へ提出すること。
11. 男子5000m以上は出場人数が多いのでグループスタートとすることがある。
12. トラック種目で参加人数が9名以上でも男子100m・200m以外はタイムレースとする。
13. 競技中「助力」を受けてはならない。(競技規則：TR6)
14. 携帯電話、ラジオ、CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
15. 競技者が走行・歩行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
16. 各チームは選手の健康管理について十分留意すること。競技にともなう事故等については、主催者は応急処置のみ行うが以後の責任は負わない。
17. その他、必要事項はその都度アナウンスにより伝達するので注意すること。
18. ゴミは各自の責任において持ち帰るようにすること。